

# 平成29年度 財政状況資料集

## 総括表 (市町村)

都道府県名	愛知県		市町村類型	II-3		指定団体等の指定状況		区分		平成29年度(千円)	平成28年度(千円)	区分		平成29年度(千円・%)	平成28年度(千円・%)				
						財政健全化等	×	歳入総額	25,122,014			24,448,904	実質収支比率			4.7	6.7		
市町村名	日進市		地方交付税種地	2-7		財源超過	○	歳出総額	24,028,252	23,087,643	歳常収支比率	85.8	84.6						
						首都	×	歳入歳出差引	1,093,762	1,361,261	(※1)	(85.8)	(84.6)						
人口	27年国調(人)	87,977	産業構造(※5)		中部	○	翌年度に繰越すべき財源	292,246	238,762	標準財政規模	16,895,450	16,879,027							
	22年国調(人)	84,237			過疎	○	実質収支	801,516	1,122,499	財政力指数	1.04	1.02							
住民基本台帳人口(※7)	増減率(%)	4.4	第1次	低開発	×	単年度収支	-320,983	-118,102	公債費負担比率	7.1	7.2								
	30.01.01(人)	89,850		27年国調	22年国調	指数表選定	○	積立金	1,258	336,985	健全化判断比率	-	-						
	うち日本人(人)	88,488	0.8	0.9			線上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-							
	29.01.01(人)	89,009	11,782	10,617			積立金取崩し額	281,063	0	連結実質赤字比率	-	-							
	うち日本人(人)	87,731	29.2	27.9			実質単年度収支	-600,788	218,883	実質公債費比率	1.7	2.0							
	増減率(%)	0.9	28,261	27,080			基準財政収入額	13,005,958	12,955,076	資金不足比率(※4)	-	-							
うち日本人(%)	0.9	70.0	71.2			基準財政需要額	12,360,805	12,217,284											
面積(km <sup>2</sup> )	34.91					標準税収入額等	16,895,450	16,879,027											
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	2,520					経常経費充当一般財源等	14,234,104	13,997,545											
世帯数(世帯)	34,210					歳入一般財源等	18,889,976	18,769,750											
職員の状況(※8)																			
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	11,238,848	12,217,818								
	市区町村長	1	9,920	一般職員	一般職員	455	1,379,105	3,031	うち公的資金	8,973,999	9,610,015								
	副市区町村長	1	8,150	うち消防職員	うち消防職員	-	-	-	債務負担行為額(支出予定額)	2,220,165	2,688,323								
	教育長	1	7,310	うち技能労務職員	うち技能労務職員	6	16,086	2,681	収益事業収入	-	-								
	議会議長	1	5,230	教育公務員	教育公務員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-								
	議会副議長	1	4,640	臨時職員	臨時職員	-	-	-	積立金現在高	1,925,835	2,205,640								
	議会議員	18	4,300	合計	合計	455	1,379,105	3,031	減債基金	13,500	13,483								
					ラスパイレズ指数			98.4	その他特定目的基金	1,955,545	1,932,319								
	一般会計等の一覧																		
	項番	会計名	事業会計の一覧				公営企業(法適)の一覧				公営企業(法非適)の一覧				関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧		(※3)
(1)	一般会計	(5)	国民健康保険特別会計									(10) 愛知県市町村職員退職手当組合		(18) 尾張土地開発公社					
(2)	三ヶ峯台地汚水処理事業特別会計	(6)	介護保険特別会計					(9) 農業集落排水処理施設事業特別会計				(11) 愛知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(19) 日進アシスト株式会社					
(3)	南山エビック団地汚水処理事業特別会計	(7)	後期高齢者医療特別会計									(12) 愛知県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)							
(4)	五色園団地汚水処理事業特別会計											(13) 尾三衛生組合							
																(14) 日東衛生組合			
																(15) 尾三消防組合			
																(16) 尾張市町交通災害共済組合			
																(17) 愛知中部水道企業団			

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補償等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。  
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※7: 人口については、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※8: 職員の状況については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)				地方税の状況(単位:千円・%)			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入金額	構成比
地方税	14,821,234	59.0	14,308,423	86.2	普通税	14,305,527	96.5
地方譲与税	212,925	0.8	212,925	1.3	法定普通税	14,305,527	96.5
利子割交付金	35,440	0.1	35,440	0.2	市町村民税	7,878,369	53.2
配当割交付金	121,130	0.5	121,130	0.7	個人均等割	156,181	1.1
株式等譲渡所得割交付金	117,181	0.5	117,181	0.7	所得割	6,986,189	47.1
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	212,354	1.4
道府県民税所得割臨時交付金	-	-	-	-	法人税割	523,645	3.5
地方消費税交付金	1,520,113	6.1	1,520,113	9.2	固定資産税	5,946,221	40.1
ゴルフ場利用税交付金	1,794	0.0	1,794	0.0	うち純固定資産税	5,932,926	40.0
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	127,309	0.9
自動車取得税交付金	113,693	0.5	113,693	0.7	市町村たばこ税	353,628	2.4
軽油引取税交付金	-	-	-	-	釧産税	-	-
地方特例交付金	92,834	0.4	92,834	0.6	特別土地保有税	-	-
地方交付税	46,648	0.2	-	-	法定外普通税	-	-
普通交付税	-	-	-	-	目的税	515,707	3.5
特別交付税	46,648	0.2	-	-	法定目的税	515,707	3.5
震災復興特別交付税	-	-	-	-	入湯税	2,896	0.0
(一般財源計)	17,082,992	68.0	16,523,533	99.6	事業所税	-	-
交通安全対策特別交付金	13,402	0.1	13,402	0.1	都市計画税	512,811	3.5
分担金・負担金	155,848	0.6	-	-	水利地益税等	-	-
使用料	489,607	1.9	39,873	0.2	法定外目的税	-	-
手数料	139,963	0.6	-	-	旧法による税	-	-
国庫支出金	2,766,050	11.0	-	-	合計	14,821,234	100.0
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-			
都道府県支出金	1,432,704	5.7	-	-			
財産収入	30,556	0.1	17,353	0.1			
寄附金	71,209	0.3	-	-			
繰入金	539,977	2.1	-	-			
繰越金	1,361,261	5.4	-	-			
諸収入	851,445	3.4	1,574	0.0			
地方債	187,000	0.7	-	-			
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-			
うち臨時財政対策債	-	-	-	-			
歳入合計	25,122,014	100.0	16,595,735	100.0			

区分		平成29年度		平成28年度	
徴収率	現・計	99.2	97.4	99.2	97.4
(%)	年	99.1	97.5	99.2	97.4
		99.2	97.4	99.3	97.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,068,332	実質収支	414,788
下水道	697,472	再差引収支	-103,512
上水道	4,254	加入世帯数(世帯)	9,514
工業用水道	-	被保険者数(人)	15,496
交通	-	被保険者	99
国民健康保険	897,023	1人当り	99
その他	1,469,583	保険料(料)収入額	79
		国庫支出金	269
		保険給付費	269

(注釈)  
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、  
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	262,112	1.1	-	262,112	-
総務費	3,066,008	12.8	652,933	2,626,877	-
民生費	10,281,147	42.8	105,911	6,054,838	-
衛生費	2,024,401	8.4	49,919	1,806,373	-
労働費	116,766	0.5	-	115,196	-
農林水産業費	133,373	0.6	5,148	123,659	-
商工費	198,805	0.8	-	73,314	-
土木費	2,158,989	9.0	615,218	2,000,627	-
消防費	921,192	3.8	1,625	915,211	-
教育費	3,532,757	14.7	810,127	2,485,305	-
災害復旧費	-	-	-	-	-
公債費	1,332,702	5.5	-	1,332,702	-
諸支出金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
歳出合計	24,028,252	100.0	2,240,881	17,796,214	-

性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,944,676	41.4	6,612,302	6,610,980	39.8
人件費	3,870,515	16.1	3,604,834	3,604,066	21.7
うち職員給	2,659,185	11.1	2,403,934	-	-
扶助費	4,741,459	19.7	1,674,766	1,674,212	10.1
公債費	1,332,702	5.5	1,332,702	1,332,702	8.0
元利償還金	1,332,702	5.5	1,332,702	1,332,702	8.0
内 うち元金	1,165,970	4.9	1,165,970	1,165,970	7.0
訳 うち利子	166,732	0.7	166,732	166,732	1.0
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	11,842,695	49.3	9,789,337	7,623,124	45.9
物件費	5,735,371	23.9	4,285,524	4,141,508	25.0
維持補修費	230,013	1.0	222,970	222,970	1.3
補助費等	2,526,179	10.5	2,324,084	2,143,729	12.9
うち一部事務組合負担金	1,413,762	5.9	1,379,270	1,372,610	8.3
繰出金	3,064,078	12.8	2,806,758	1,114,917	6.7
積立金	167,054	0.7	150,001	-	-
投資・出資金・貸付金	120,000	0.5	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,240,881	9.3	1,394,575	-	-
うち人件費	81,975	0.3	81,975	-	-
普通建設事業費	2,240,881	9.3	1,394,575	-	-
うち補助	679,014	2.8	206,236	-	-
うち単独	1,561,867	6.5	1,188,339	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	24,028,252	100.0	17,796,214	-	-



### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成29年度

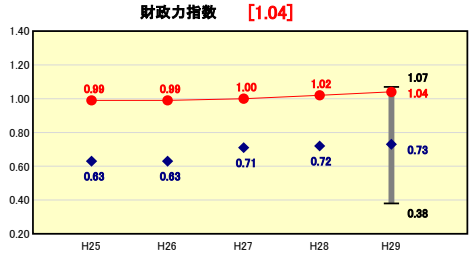
愛知県日進市

人口	89,850	人(※30.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	88,488	人(※30.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	34.91	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	25,122,014	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	24,028,252	千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	801,516	千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	16,895,450	千円			
地方債現在高	11,238,848	千円			



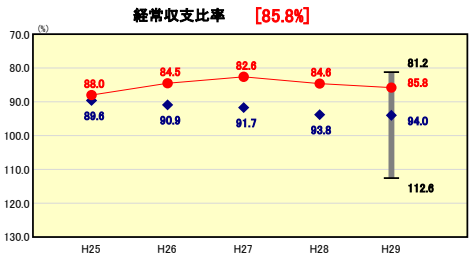
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※「定員管理の状況」及び「給与水準(国との比較)」は地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点(平成31年1月末時点)において平成30年調査結果が未公表であるため、平成29年度の数値については、前年度の数値を引用している。  
 ※人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

#### 財政力



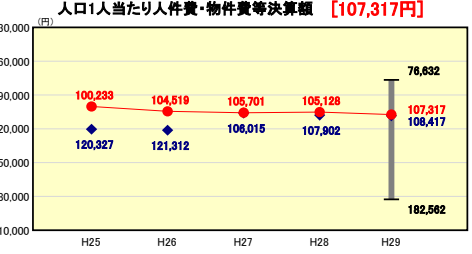
**財政力指数の分析圖**  
 人口増加や高齢化などにより需要が増加したが、納税義務者数の増加等による税収増により、過去3か年において基準財政需要額の伸び以上に基準財政収入額が増加したため、財政力指数は前年度に比べ微増となった。また、類似団体の平均は大きく上回っているものの、子どもの数が多い本市では、幼児教育無償化の影響など、今後、委託料や扶助費などの経常経費の増加が見込まれる。引き続き中期財政計画等により、人口増加による需要や税収のバランスを見ながら、財政の健全化に努める。

#### 財政構造の弾力性



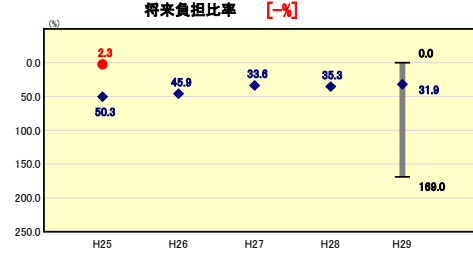
**経常収支比率の分析圖**  
 平成29年度は、経常経費充当一般財源等が例年並みの伸び率だったのに対して、経常一般財源等は、法人市民税の減収により、平成28年度よりは増加したものの、伸び率は低く留まったため、経常収支比率はプラスになった。  
 今後は、国の動向などによる経常経費充当一般財源等は増加する要素がある一方、経常一般財源等は消費税率の増加に伴う地方消費税交付金の増加は見込めるものの、法人市民税が変動要素となるため、予算編成のタイミングで税の見込みを精査し、歳入を歳入に見合った予算にすることで、経常収支比率を現状保持できるようコントロールしていく。

#### 人件費・物件費等の状況



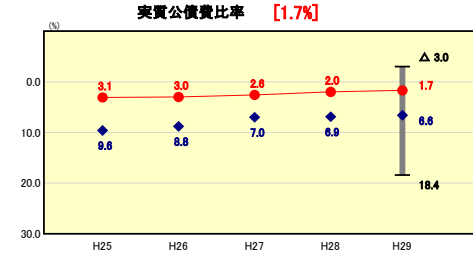
**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析圖**  
 平成29年4月に開設された民間保育所運営費や放課後子ども教室運営委託料の増加が大きく影響し、人口1人当たりの決算額は増加した。類似団体の平均よりやや低い水準にあるものの、引き続き経営改革プランや定員適正化計画により人件費と物件費を併せて抑制するよう努める。

#### 将来負担の状況



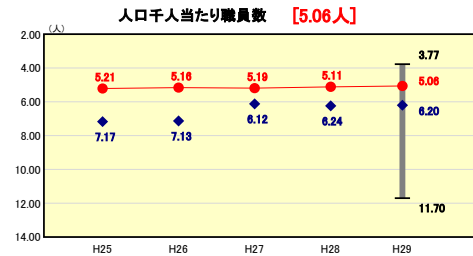
**将来負担比率の分析圖**  
 平成29年度は昨年度に引き続き将来負担額に対し、充当可能財源等が上回るため、将来負担比率の表示はない。しかしながら、今後も人口増加に伴う子育て施策の拡充や下水道整備事業等が見込まれるため、世代間の公平性を勘案して起債発行管理を適正に行い、中期財政計画に基づき引き続き健全な水準の維持に努める。

#### 公債費負担の状況



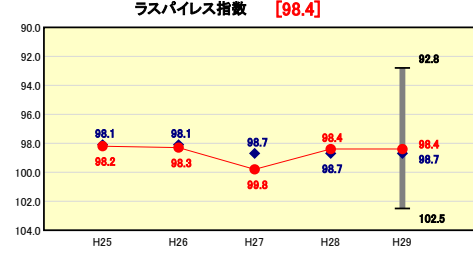
**実質公債費比率の分析圖**  
 公営企業の地方債の償還財源として充てられると認められる繰入金が増加したが、普通会計における元利償還金の額が減少し、また、標準財政規模が増加しているため、減少となった。類似団体平均より低い水準にはあるが、今後も中期財政計画に基づき、地方債発行管理を適正に行い、将来負担比率と同様に健全な水準の維持に努める。

#### 定員管理の状況



**人口千人当たり職員数の分析圖**  
 第5次定員適正化計画(平成28年度から平成32年度までの5年間)では、人口増加に伴う業務量の増加に加え、業務の専門化や高度化・多様化する市民ニーズに対応するため、平成27年度の職員数と比べ、5年間で12人の増員としている。  
 各年度の職員数は、定年退職予定者数等を鑑みながら、年度単位で設定しており、定員適正化計画に則り職員採用を行っているため、今後も適正な職員数の確保に取り組む。

#### 給与水準(国との比較)



**ラスパイレス指数の分析圖**  
 定年退職者数の増加に伴う昇格の低年齢化のため、一時的な数値上昇があったが、類似団体平均を下回る水準に回復している。今後も国の制度に準拠した給与制度の運用を図ることで、適正な給与水準の維持に努める。  
 (平成29年度欄に記載の数値は、前年度数値を引用している。)

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

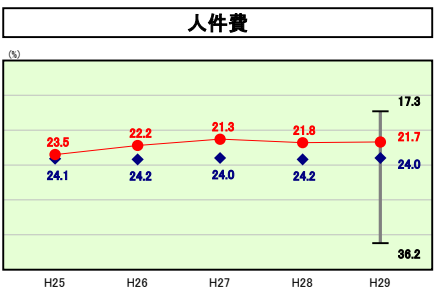
愛知県日進市

## 経常収支比率の分析

人口	89,850	人(H30.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	88,488	人(H30.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	34.91	km <sup>2</sup>	実収公債費比率	1.7	%
歳入総額	25,122,014	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	24,028,252	千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実収収支	801,516	千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	16,895,450	千円			
地方債現在高	11,238,848	千円			

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

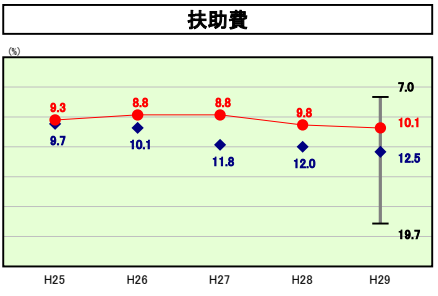
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 24/85 全国平均 25.6 愛知県平均 25.8

#### 人件費の分析欄

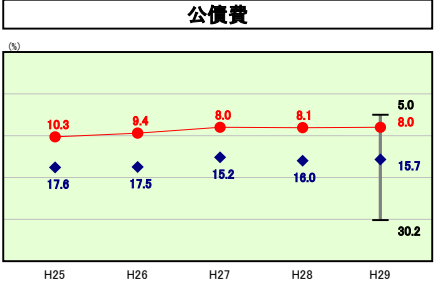
人件費総額は増加したが、人件費充当特定財源が増加したため、経常経費充当一般財源等の人件費が減少し、前年度と比較して0.1ポイント減少した。類似団体の平均を引き続き下回っているものの、今後も定員適正化計画及び給与水準の見直し等により、人件費が過大とならないように努める。



類似団体内順位 13/85 全国平均 12.4 愛知県平均 13.9

#### 扶助費の分析欄

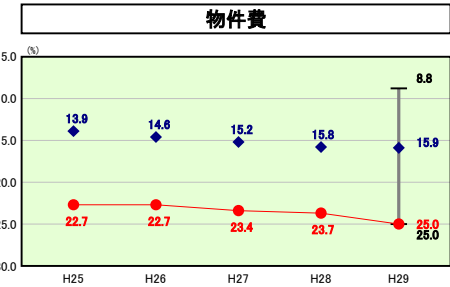
社会福祉費の自立支援給付費及び児童福祉費の施設型給付費が大きく増加したことに伴い、扶助費に充当する経常経費充当一般財源等が増加し、扶助費の経常収支比率も前年度と比較して0.3ポイント増加した。今後も、人口増加による子育て支援、障害者福祉等にかかる費用が増加する傾向であり、比率の推移を注視していく。



類似団体内順位 4/85 全国平均 16.9 愛知県平均 13.1

#### 公債費の分析欄

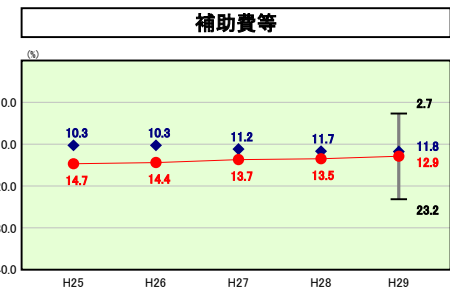
平成29年度は、スポーツセンターの建設事業に伴う地方債の償還が終わったことなどにより、0.1ポイント減少した。今後は公共施設の大規模改修等に伴う地方債の発行を予定しているため、適正な発行管理により、公債費負担の健全な水準の維持に努める。



類似団体内順位 85/85 全国平均 14.5 愛知県平均 15.9

#### 物件費の分析欄

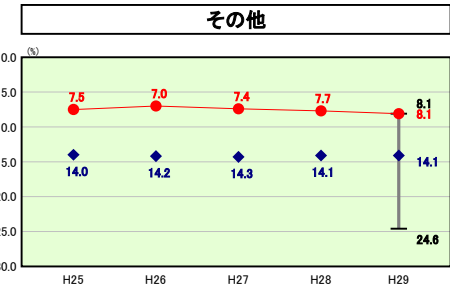
平成29年4月に開設した民間保育所委託料や放課後子ども教室運営委託料の増加等により、1.3ポイント増加した。アウトソーシングを積極的に進めているため、物件費は依然として類似団体の平均を大きく上回っているものの、人件費と併せて経常経費比率の健全な水準の維持に努める。



類似団体内順位 52/85 全国平均 10.1 愛知県平均 11.1

#### 補助費等の分析欄

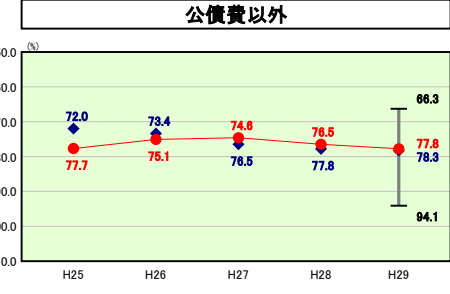
類似団体の平均を上回っている。要因としては、し尿、ごみ処理及び消防を一部事務組合で行っており、各組合への負担金が補助費等に計上されているためである。平成29年度は経常一般財源等が増加し、一部事務組合への負担金が減少したため、経常経費充当一般財源等が0.6ポイント減少した。一部事務組合については、施設の老朽化等の問題を抱えており、各組合への負担金は増加することが予測されるため、急激に増加することのないよう努める。



類似団体内順位 1/85 全国平均 13.3 愛知県平均 11.2

#### その他の分析欄

類似団体平均を下回っているが、今後、施設の老朽化による維持補修費の増加、高齢化や医療費の増加による国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計への繰出金の増加が見込まれる。今後は、計画的な修繕の遂行、繰出金の適正な水準の維持により指標の上昇抑制に努める。



類似団体内順位 34/85 全国平均 75.9 愛知県平均 77.8

#### 公債費以外の分析欄

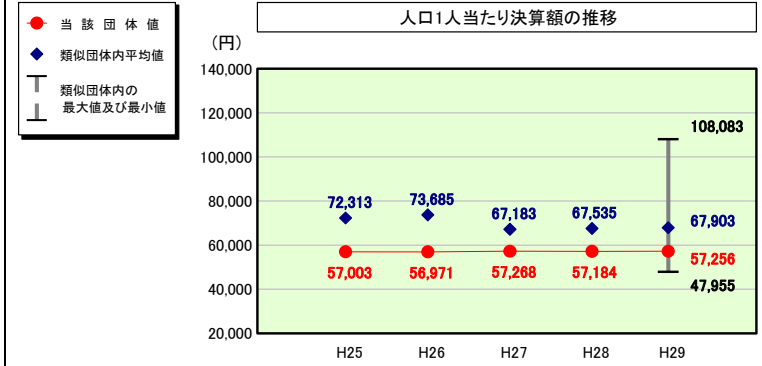
平成29年度は類似団体平均より人件費で2.3ポイント、扶助費で2.4ポイント、その他で、6.0ポイント下回ったことなどにより、公債費以外の合計で、0.5ポイント下回ったが、前年度と比較すると、物件費の経常収支比率が1.3ポイント上昇し、公債費以外の経常収支比率も1.3ポイント上昇した。今後は、保育需要に対応した民間保育所委託料の増加による物件費の上昇や、自立支援給付費等の扶助費の増加が見込まれるが、定員適正化計画や中期財政計画等により、適正な水準の維持に努める。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成29年度

愛知県日進市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	3,870,515	43,078	57,316	▲ 24.8
賃金 (物件費)	516,440	5,748	3,762	52.8
一部事務組合負担金 (補助費等)	752,818	8,379	6,408	30.8
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	891	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	1	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	198,156	2,205	2,694	▲ 18.2
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	81,975	912	1,362	▲ 33.0
▲退職金	▲ 275,476	▲ 3,066	▲ 4,530	▲ 32.3
合計	5,144,428	57,256	67,903	▲ 15.7

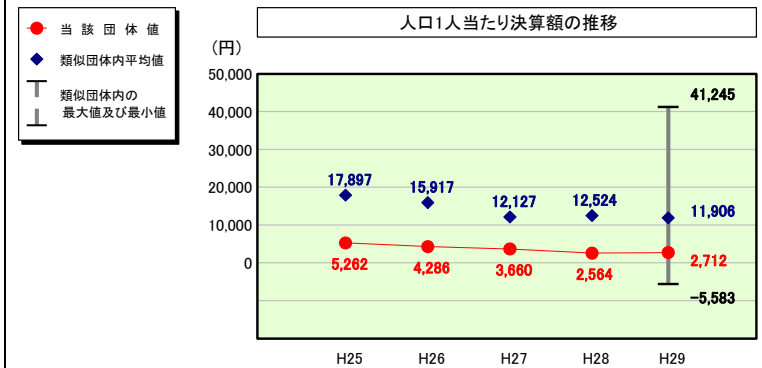
## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.06	6.20	▲ 1.14
ラスパイレズ指数	98.4	98.7	▲ 0.3

(注) 人口については、各調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

(注) 参考については、地方公務員給与実態調査に基づくものであるが、当該資料作成時点 (平成31年1月末時点) において平成30年調査結果が未公表であるため、前年度の数値を引用している。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

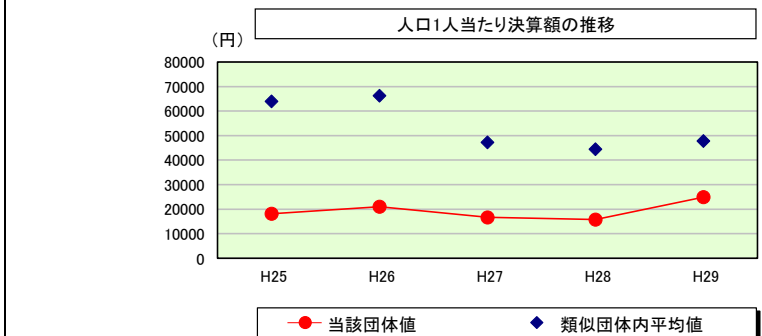


## 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,332,702	14,833	34,720	▲ 57.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	22	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	436,916	4,863	9,232	▲ 47.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	49,188	547	2,017	▲ 72.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	-	-	1,146	-
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 311,578	▲ 3,468	▲ 6,713	▲ 48.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,263,510	▲ 14,062	▲ 28,519	▲ 50.7
合計	243,718	2,712	11,906	▲ 77.2

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H25	1,563,434	18,195	▲ 50.4	63,956	25.7	▲ 76.1
うち単独分	1,008,536	11,737	▲ 42.6	29,239	8.8	▲ 51.4
H26	1,831,132	21,057	15.7	66,255	3.6	12.1
うち単独分	1,213,707	13,957	18.9	31,822	8.8	10.1
H27	1,468,839	16,687	▲ 20.8	47,278	▲ 28.6	7.8
うち単独分	808,936	9,190	▲ 34.2	24,096	▲ 24.3	▲ 9.9
H28	1,410,330	15,845	▲ 5.0	44,504	▲ 5.9	0.9
うち単独分	992,606	11,152	21.3	25,876	7.4	13.9
H29	2,240,881	24,940	57.4	47,820	7.5	49.9
うち単独分	1,561,867	17,383	55.9	25,855	▲ 0.1	56.0
過去5年間平均	1,702,923	19,345	▲ 0.6	53,963	0.5	▲ 1.1
うち単独分	1,117,130	12,684	3.9	27,378	0.1	3.8

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

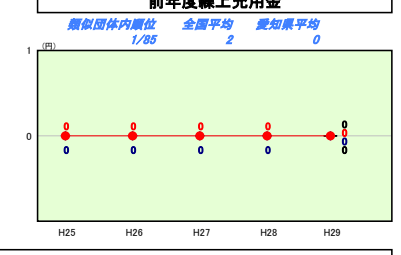
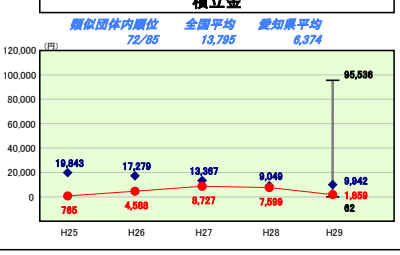
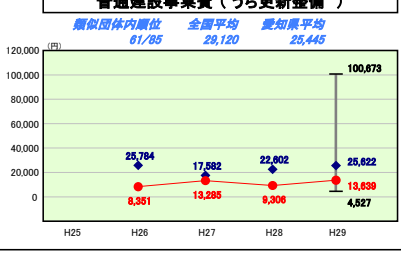
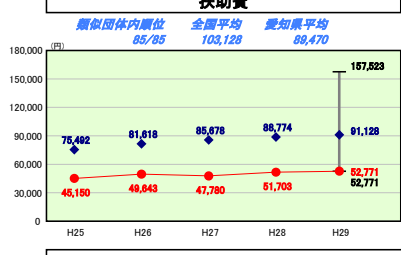
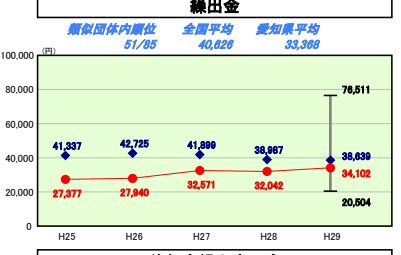
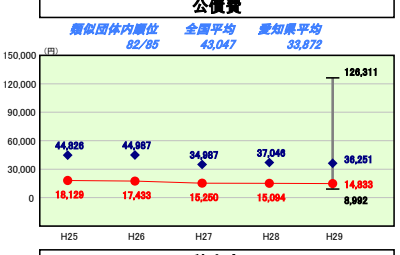
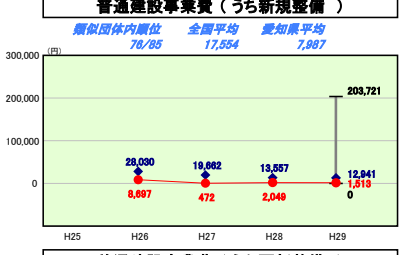
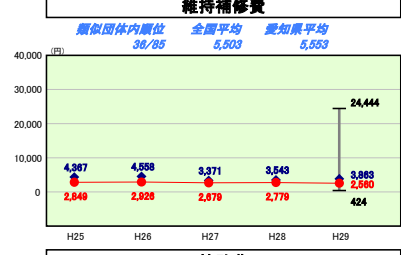
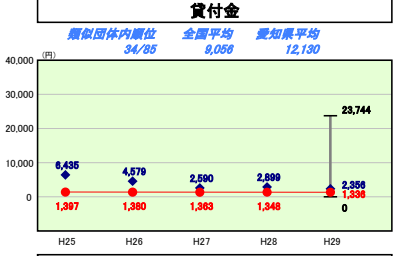
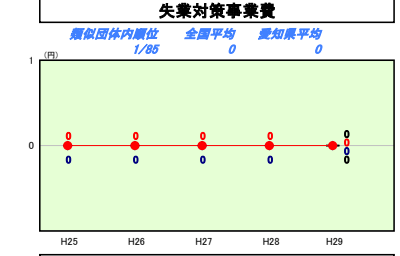
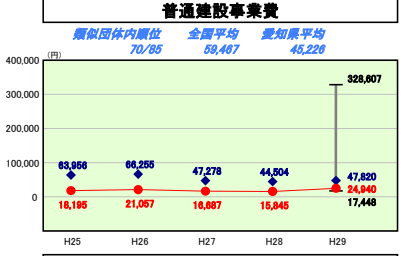
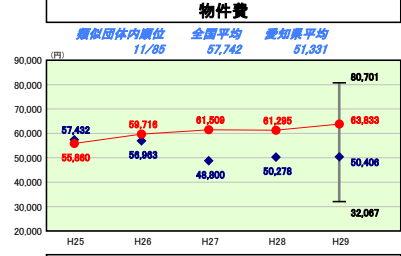
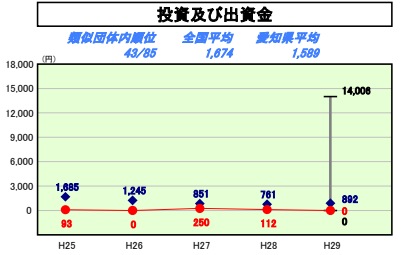
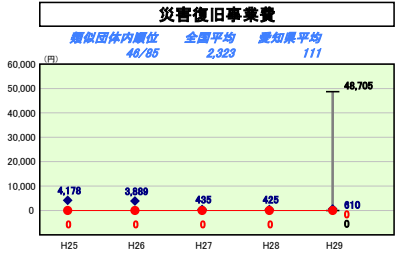
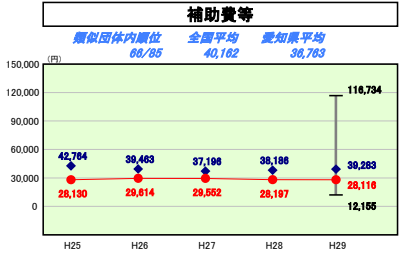
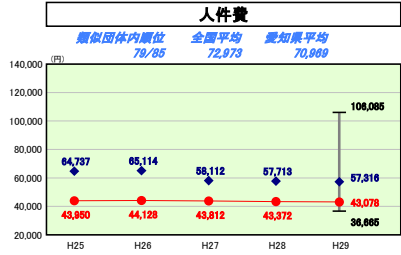
平成29年度

愛知県日進市

人口	89,850人(※0.1.1現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	86,466人(※0.1.1現在)	運給実収赤字比率	-	%	
世帯数	34,911世帯	実収公債費比率	1.7	%	
歳入総額	25,122,014千円	将来負担比率	-	%	
歳出総額	24,028,252千円	市町村類型	H25 II-1	H26 II-1	H27 II-3
実収収支	801,516千円	(年度毎)	H28 II-3	H29 II-3	
標準財政規模	16,895,450千円				
地方債現在高	11,238,848千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 性質別歳出の分析

歳出決算総額は、住民一人当たり267,426円となっている。全国類似団体を上回っているのは物件費であるが、児童福祉費に係る民間保育所運営委託料の増加などにより、一人当たり物件費も増加しており、依然として類似団体平均と比べてかなり高い水準となった。  
 また、普通建設事業費は、住民一人当たり24,940円となっており、類似団体平均と比較して一人当たり歳出金額が低い状況となっているものの、東部丘陵地西部地区用地購入の皆増にともない前年度より増加した。  
 扶助費は、障害者自立支援給付費や施設型給付費の増加などにより、前年度比1,068円増えた。  
 今後は、老朽化を迎えるインフラ・公共施設等の大規模修繕や新規にスマートインターチェンジや道の駅整備等の大規模事業が控えていることから増加が見込まれる。

# (6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

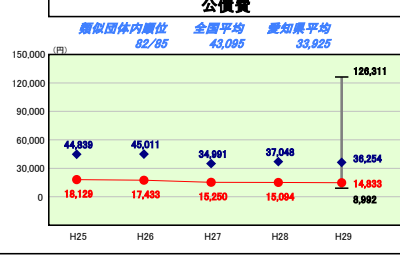
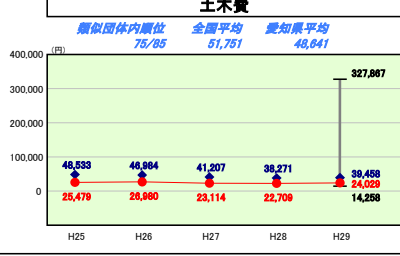
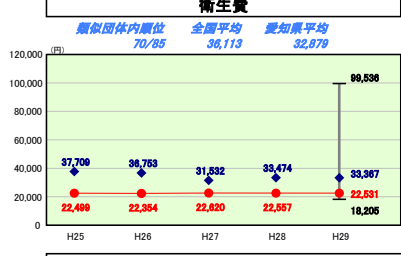
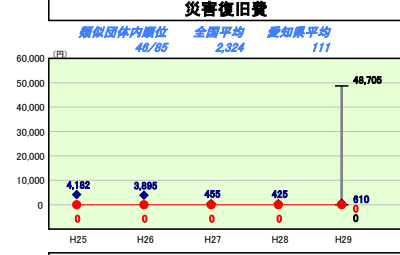
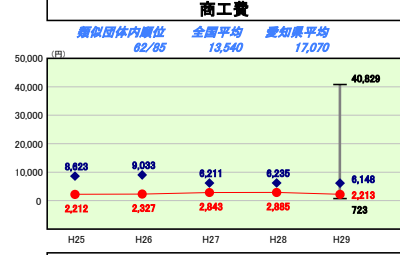
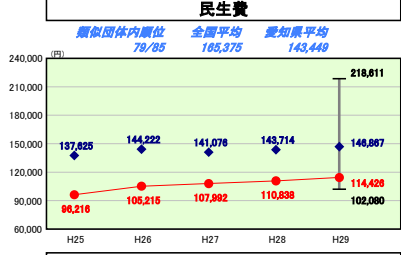
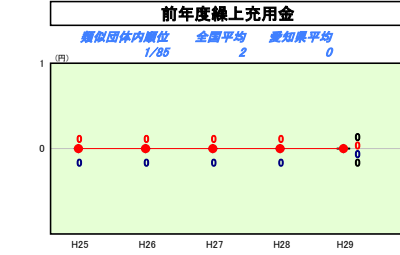
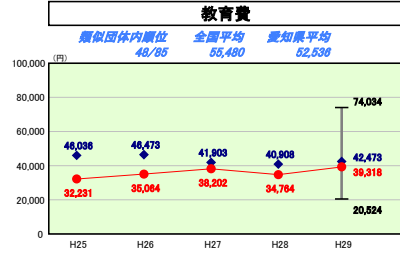
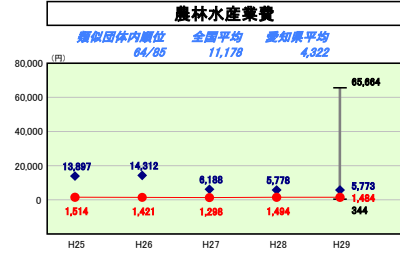
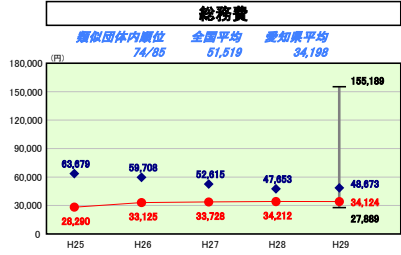
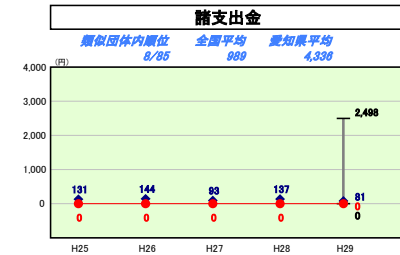
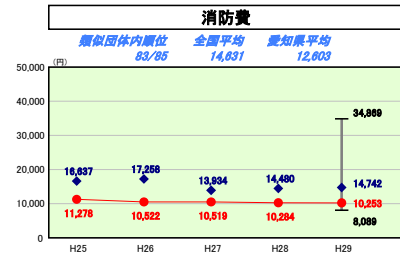
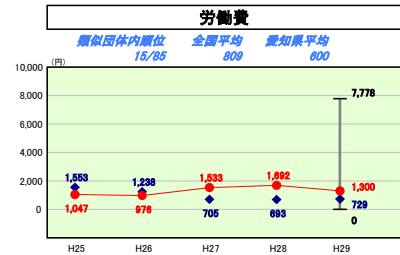
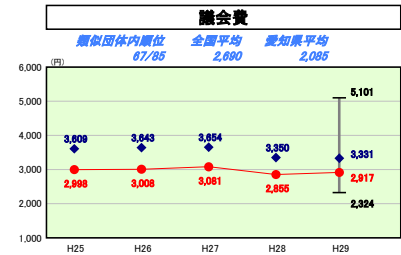
平成29年度

愛知県日進市

人口	89,850人(※0.1.1調査)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	86,466人(※0.1.1調査)	通算実収赤字比率	-	%	
面積	34.91km <sup>2</sup>	実収公債費比率	1.7	%	
歳入総額	25,122,014千円	実収負担比率	-	%	
歳出総額	24,028,252千円	市町村類型	H25 II-1	H26 II-1	H27 II-3
実収収支	801,516千円	(年度毎)	H28 II-3	H29 II-3	
標準財政規模	16,895,450千円				
地方債現在高	11,238,848千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



**目的別歳出の分析**  
 類似団体平均と比較すると、ほぼ全ての項目で低い水準で推移している。主な構成項目である民生費は、住民一人当たり114,426円となっており、類似団体平均を下回っているが近年増加傾向にある。構成比を見ると、民生費のうち児童福祉行政に要する経費である児童福祉費が全体の約5.6%を占めており、ついで社会福祉費が約2.4%を占めている。生活保護費の割合は低く抑えられている。平成29年度は認可保育所建設補助金が減少したものの、民間保育所運営委託料、自立支援給付費や後期高齢者医療特別会計繰上金などが増加したことにより増加した。教育費は、小学校空調設備設置工事の増や放課後子ども教室運営委託料などで増加しているものの、類似団体平均より下回っている。今後は校舎等の大規模改修が予定されていることから、増加が見込まれる。

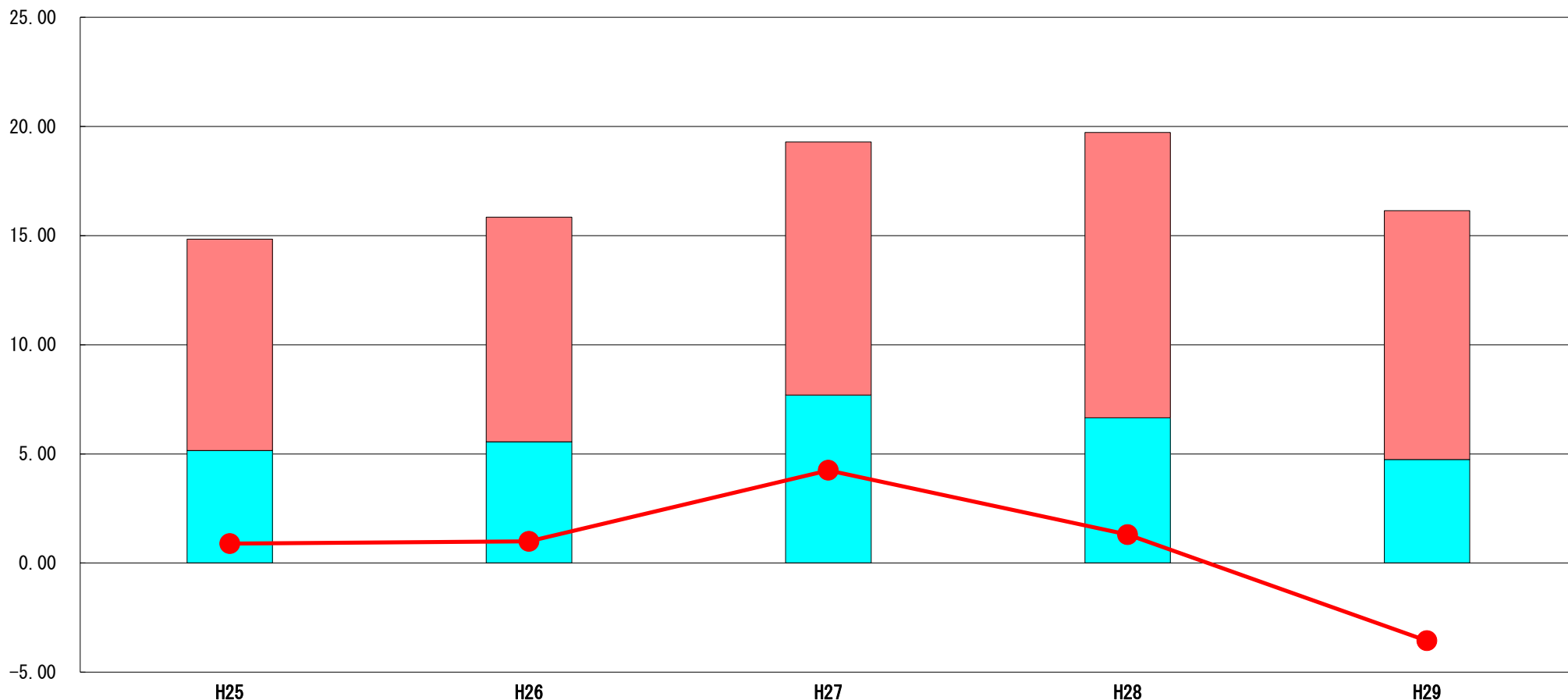


# (7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




平成29年度

愛知県日進市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29
 財政調整基金残高		9.69	10.28	11.59	13.07	11.40
 実質収支額		5.15	5.56	7.70	6.65	4.74
 実質単年度収支		0.89	0.99	4.25	1.30	▲ 3.56

### 分析欄

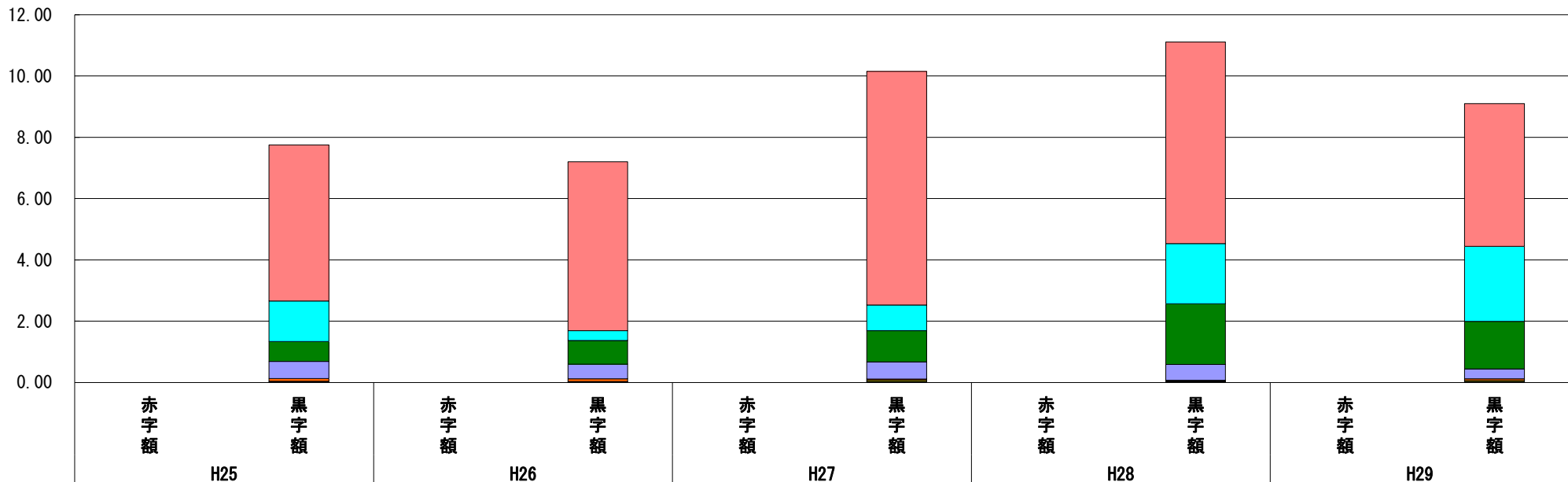
財政調整基金は、平成29年度は法人税収の減収に伴う全体的な財源不足に充てるため、約2億8千万円を取り崩し、前年度比1.67ポイント減少した。  
 実質収支額は、平成29年度は前年度比1.91ポイント減少した。  
 実質単年度収支は、財政調整基金を取り崩したことで、前年度比4.86ポイント減少した。  
 財政調整基金については、中期財政計画に基づき30億円の確保を目標とする。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成29年度

愛知県日進市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計		5.09	5.51	7.62	6.58	4.66
国民健康保険特別会計		1.32	0.32	0.84	1.96	2.45
介護保険特別会計		0.65	0.77	1.02	1.98	1.55
下水道事業特別会計		0.56	0.48	0.56	0.52	0.32
後期高齢者医療特別会計		0.09	0.09	0.04	0.02	0.06
五色園団地汚水処理事業特別会計		0.03	0.01	0.04	0.03	0.04
三ヶ峯台団地汚水処理事業特別会計		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
南山エピック団地汚水処理事業特別会計		0.00	0.01	0.01	0.01	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.01	0.00	0.00

## 分析欄

一般会計は、標準財政規模の増加、小学校空調設備設置工事等に伴う翌年に繰り越す財源の増加による実質収支の減少により、平成29年度は平成28年度に比べ減少したものの、全体としては、この水準を保っていく。  
 国民健康保険、下水道事業特別会計及びその他の会計（農業集落排水処理施設）については、一般会計からの法定外繰入や基準外繰入を行っているため、黒字を保っている。  
 その他の会計については保険料や使用料を適切に賦課徴収することにより事業運営できている。  
 なお、国民健康保険特別会計については、保険料水準を上げることにより法定外繰入を減少させることとしている。  
 また、下水道特別会計については、法適化することにより、財務体質の強化を図ることとしている。

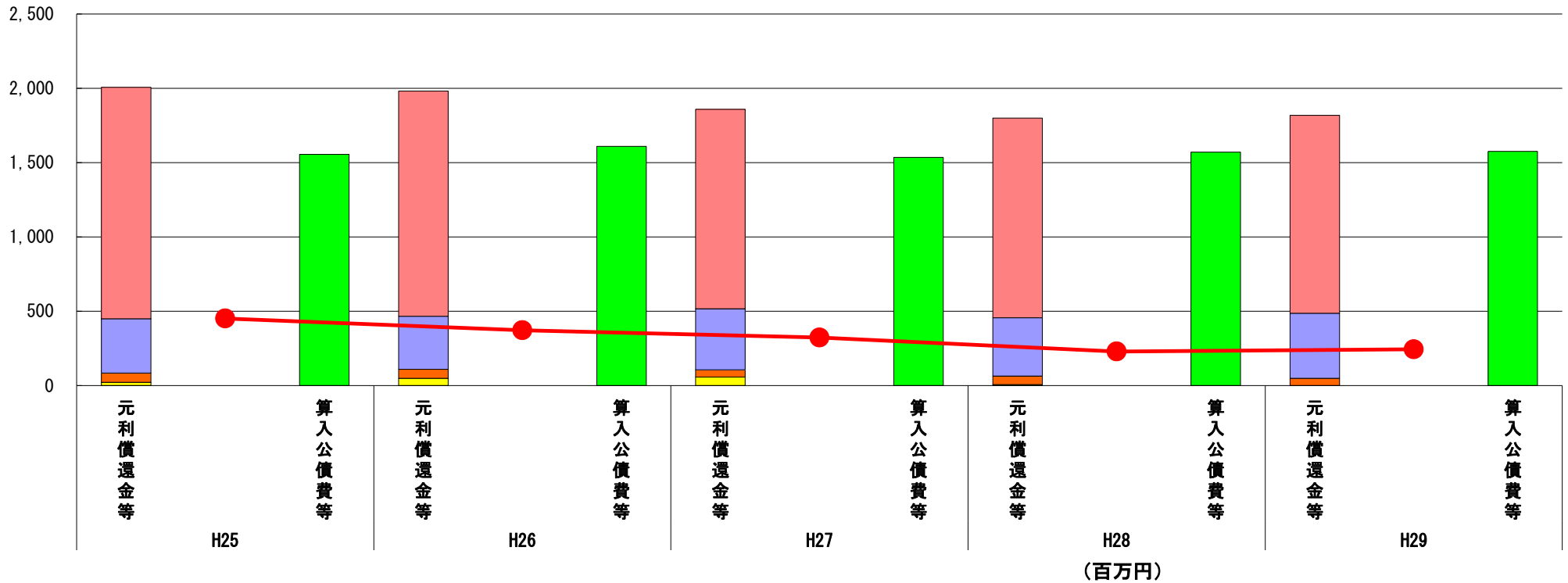
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

愛知県日進市

(百万円)



分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,558	1,516	1,342	1,344	1,333
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		365	357	410	392	437
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		63	60	50	57	49
	債務負担行為に基づく支出額		21	49	56	6	-
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,556	1,610	1,536	1,570	1,576
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		451	372	322	229	243

**分析欄**

元利償還金は中学校空調設備設置事業に伴う償還が増加したものの、スポーツセンターの建設事業に伴う地方債の償還が終わったことなどにより、全体として微減となった。

組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等は、消防施設及びごみ処理施設に対する地方債の償還が進み減少した。

実質公債費比率の分子は、一般会計の元利償還金の額は減少したが、公営企業に要する償還金が増加している。

今後は、公営企業である下水道特別会計も含めた借入金額を中期財政計画に基づいた適正な金額とすることで、引き続き健全な水準を維持していく。

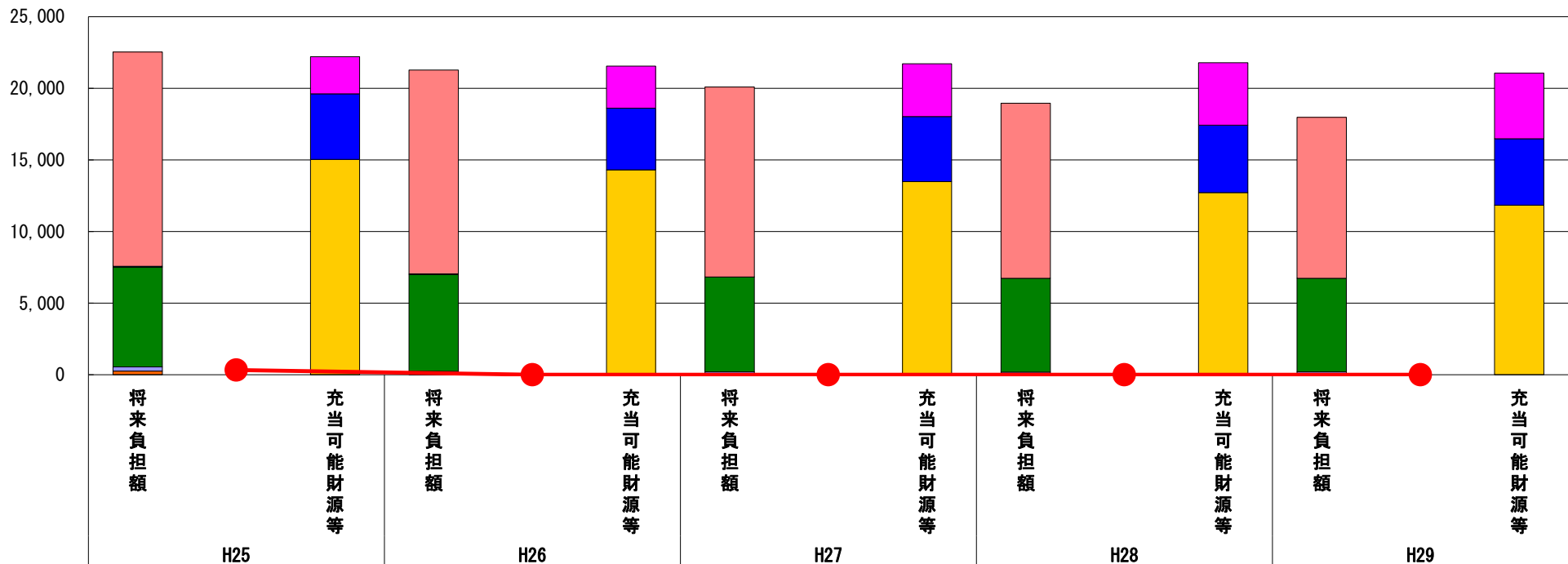
※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

愛知県日進市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,954	14,216	13,258	12,218	11,239
	債務負担行為に基づく支出予定額		67	62	6	-	-
	公営企業債等繰入見込額		6,967	6,750	6,625	6,554	6,534
	組合等負担等見込額		282	237	196	177	202
	退職手当負担見込額		260	-	-	-	-
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		2,587	2,930	3,686	4,358	4,579
	充当可能特定歳入		4,582	4,315	4,538	4,697	4,627
	基準財政需要額算入見込額		15,032	14,297	13,485	12,725	11,847
(A) - (B)	将来負担比率の分子		331	▲ 278	▲ 1,625	▲ 2,831	▲ 3,078

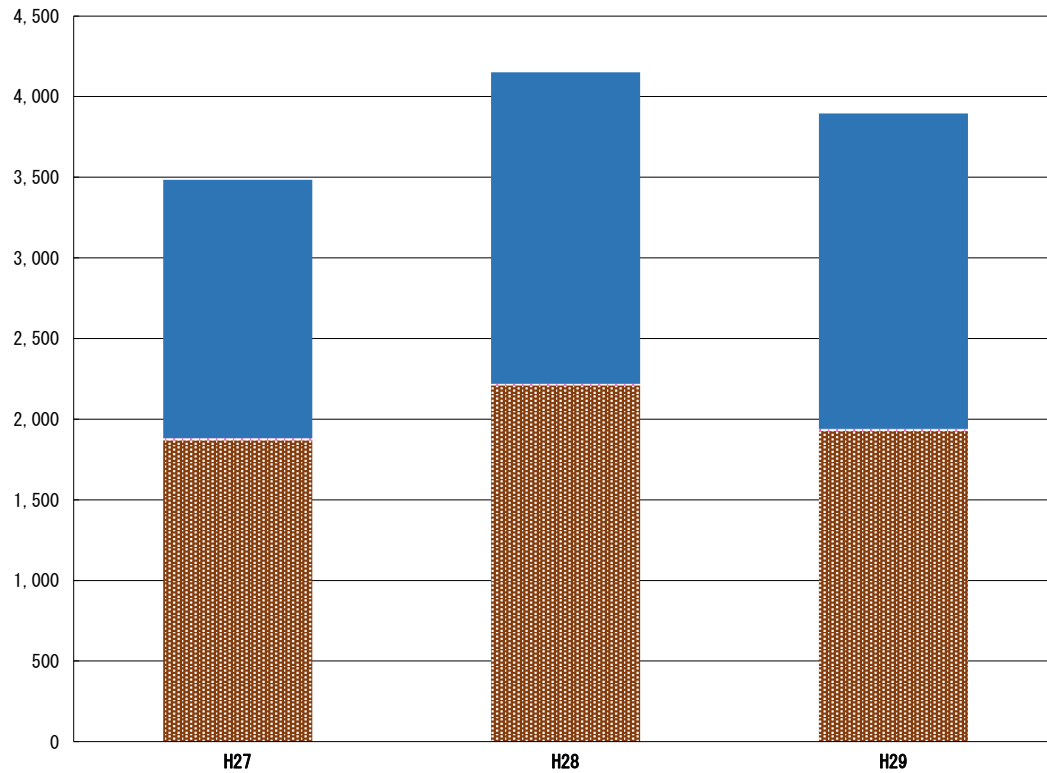
## 分析欄

一般会計等に係る地方債の残高は、近年は地方債の償還が進み、残高は減少傾向にある。  
 債務負担行為に基づく支出予定額は、土地開発公社の利用を前年度に引き続き行っていない。  
 公営企業債等繰入見込額は、下水道事業債残高は減少している。一般会計繰出金充当率の減少により、近年は減少傾向にある。  
 組合等負担等見込額は、ごみ処理施設に対する地方債の発行により、地方債残高は増加した。  
 今後は、中期財政計画において地方債残高を標準財政規模程度まで減少させていくことを目標に掲げており、適正に管理していく。  
 充当可能財源等のうち充当可能基金は、主に公共施設整備基金を積み立てた。  
 上記により、将来負担比率の分子は前年度に引き続きマイナスの値となり、将来負担比率の表示はない。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H27	H28	H29
財政調整基金		1,869	2,206	1,926
減債基金		13	13	14
その他特定目的基金		1,602	1,932	1,956
公共施設整備基金		805	1,127	1,277
地域福祉基金		253	253	253
五色園団地汚水処理事業財政調整基金		203	204	201
災害対策基金		145	145	145
南山エピック団地汚水処理事業財政調整基金		36	38	39
基金残高合計		3,484	4,151	3,895

平成29年度

愛知県日進市

## 基金全体

（増減理由）

東部丘陵地西部地区用地購入するため、1億3千万円取り崩したこと、法人税収減収に伴う全体的な財源不足に充てるため、2億8千万円を取り崩した等により、基金全体として2億5千600万円の減額となった。

（今後の方針）

本市では、平成29年度から中期財政計画をローリング更新にあらためた。同計画において基金の積立目標等を定めていることから、計画的に積立をおこなっていく。

## 財政調整基金

（増減理由）

全体的な財源不足に充てるため、2億8千万円を取り崩した。また、利子収入分としては、125万8千円を積み立てた。平成28年度末と比べ、2億7,980万5千円減額となった。

（今後の方針）

中期財政計画において、経済事情の著しい変動や災害等に備えるため、標準財政規模に対する同基金残高割合を、県内類似団体平均まで確保する。ただし、リーマンショックによる景気後退以降の降税収が回復するまでの3年間で、約30億円程度の税収減であったことから、最低積立目標額を30億円とする。

## 減債基金

（増減理由）

基金元金の運用による利子収入を積み立てたもの。

（今後の方針）

当該基金の利用予定なし。

## その他特定目的基金

（基金の用途）

主な特定目的基金である公共施設整備基金は、公共施設の大規模修繕や更新費用として積み立てている。

（増減理由）

東部丘陵保全基金を東部丘陵地西部地区用地購入に当てるため1億3千万円取り崩したが、公共施設整備基金に1億5千万円積み立てたなどにより、2千万円の増額となった。

（今後の方針）

主な特定目的基金である公共施設整備基金は、公共施設等総合管理計画に基づき年間2億円程度確保していく。

# (12)市町村公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

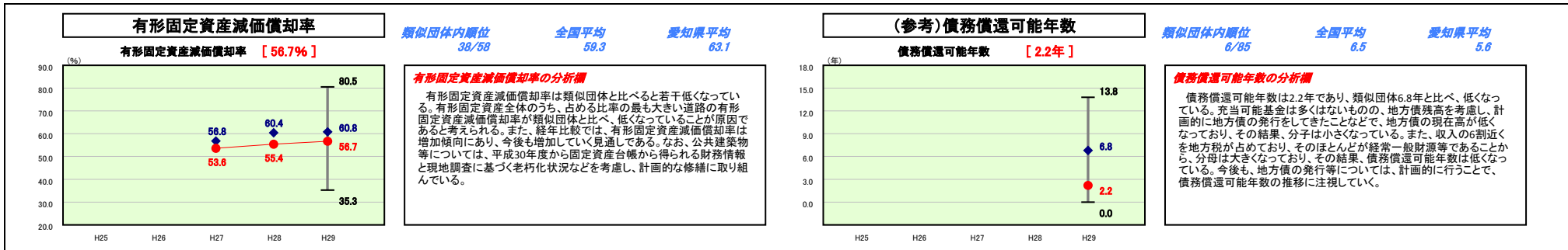
平成29年度

愛知県日進市

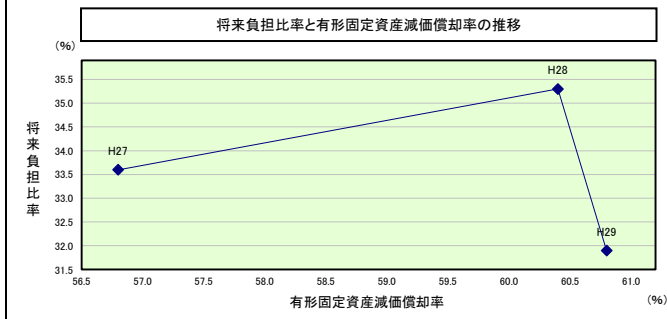
人口	89,850人 (H30.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	88,488人 (H30.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	34.91 km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7 %
歳入総額	25,122,014千円	将来負担比率	- %
歳出総額	24,028,252千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3
実質収支	801,516千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3
標準財政規模	16,895,450千円		
地方債現在高	11,238,848千円		

● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
┌ 類似団体内の最大値及び最小値

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出してない団体については、債務償還可能年数、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。



## 将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



### 分析欄

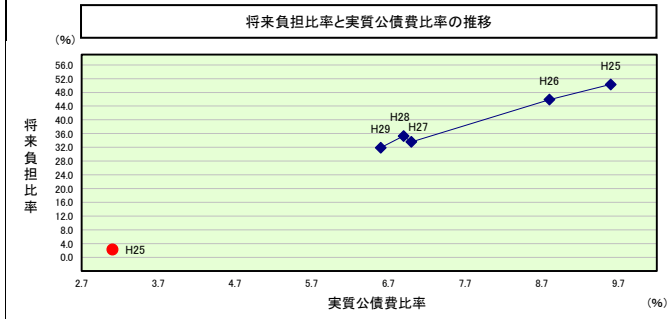
有形固定資産減価償却率は施設の法定耐用年数に対する建築後の経過年数の比率であり、新たな資産形成より既存の減価償却費が上回ったことにより増加した。また、将来負担比率は、将来負担額が地方債の発行を慎重に行っていることと過去の地方債の償還が進んだことから減少傾向にあり、充当可能財源等が上回ったことから表示されていない。今後も人口増加が見込まれることなどから、直ちに施設の削減等を予定しておらず、有形固定資産減価償却率は増加していく見通しである。

今後も公共施設等総合管理計画をふまえて、中期財政計画に基づいた計画的な財政運営を行うことで、持続可能な形で修繕等を計画的に進めていく。

### (参考)

		H25	H26	H27	H28	H29
当該団体値	将来負担比率			-	-	-
	有形固定資産減価償却率			53.6	55.4	56.7
類似団体内平均値	将来負担比率			33.6	35.3	31.9
	有形固定資産減価償却率			56.8	60.4	60.8

## 将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



### 分析欄

将来負担比率は、将来負担額が地方債の発行を慎重に行っていることと過去の地方債の償還が進んだことから減少傾向にあり、充当可能財源等が上回ったことから表示されていない。実質公債費比率についても、スポーツセンター建設事業、日進西中学校校舎増築事業等に伴う地方債の償還の終了等により、減少となった。

### (参考)

		H25	H26	H27	H28	H29
当該団体値	将来負担比率	2.3	-	-	-	-
	実質公債費比率	3.1	3.0	2.6	2.0	1.7
類似団体内平均値	将来負担比率	50.3	45.9	33.6	35.3	31.9
	実質公債費比率	9.6	8.8	7.0	6.9	6.6

# (13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

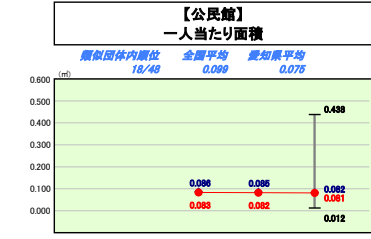
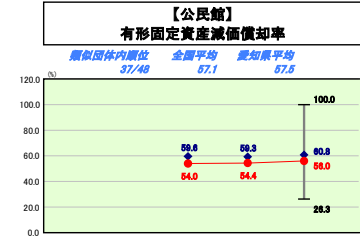
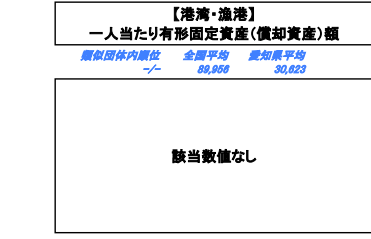
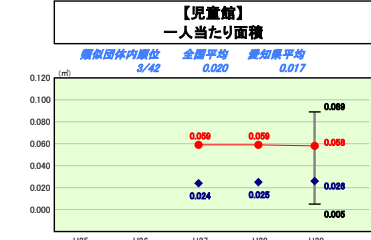
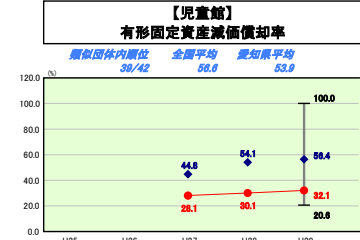
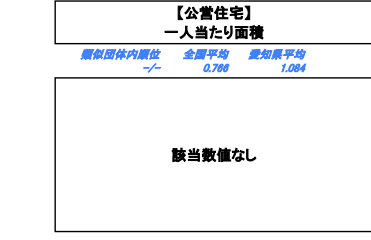
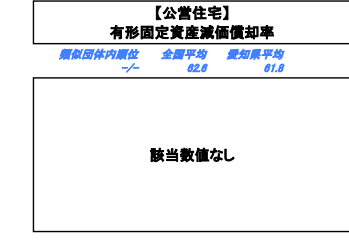
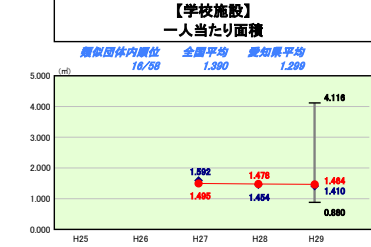
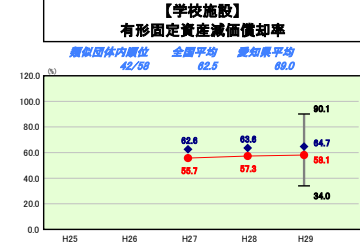
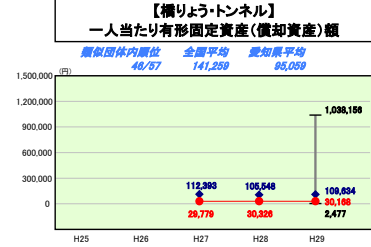
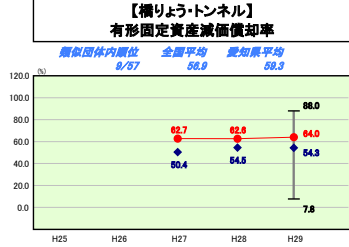
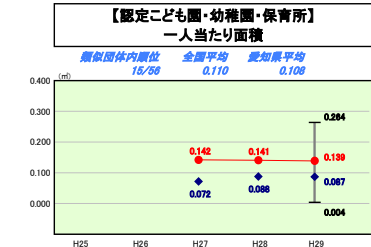
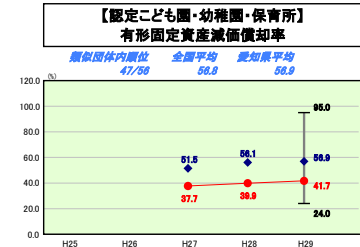
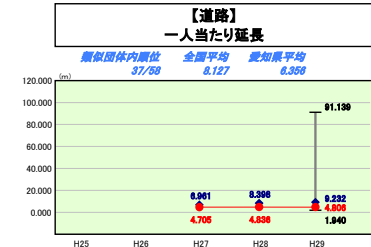
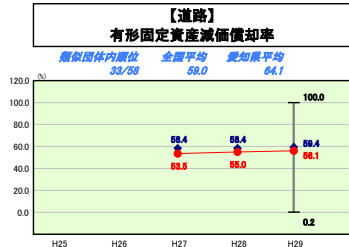
平成29年度

愛知県日進市

人口	89,860人(930.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	88,488人(930.1.1現在)	道新実質赤字比率	-%
面積	34.91km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7%
歳入総額	25,122,014千円	将来負担比率	-%
歳出総額	24,028,282千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3
実質収支	801,516千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3
標準財政規模	16,885,450千円		
地方債現在高	11,239,848千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 施設情報の分析

類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率が低くなっている施設は、道路、認定こども園・幼稚園・保育所、学校施設、児童館、公民館である。道路については、類似団体との差は3.3%と大きくはないものの、総量は多いため、全体の有形固定資産減価償却率に対しての影響としては、大きいものである。また、道路・橋りょう等のインフラ資産についても、個別に現況の点検を行っており、優先度の高い箇所から長寿命化対策などを講じている。認定こども園・幼稚園・保育所については、平成27年度に米野木台西保育園が建築されたことなどの影響で、有形固定資産減価償却率は41.7%となり、類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と比べ高くなっている。学校施設については、平成25年度に竹の山小学校、日進北中学校の併設校が建築されたことなどの影響で、有形固定資産減価償却率は58.1%となり、類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と同程度となっている。児童館については、福祉会館の一部を児童館としているが、6館中4館が平成11年度以降に建築されており、比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ低くなっている。ただし、施設単体では、有形固定資産減価償却率の高い施設もあり、修繕の優先順位をつけ、計画的な老朽化対策に取り組んでいくこととしている。

# (13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

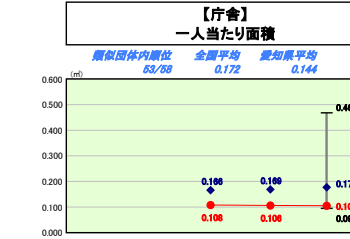
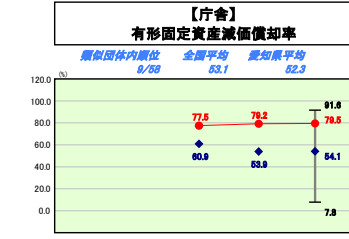
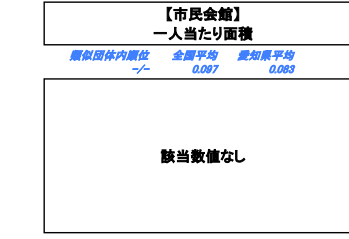
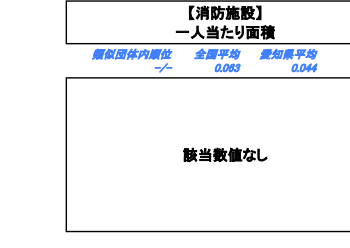
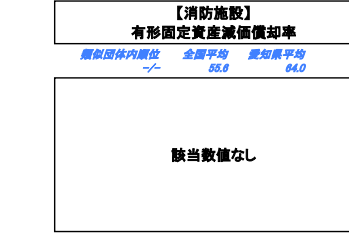
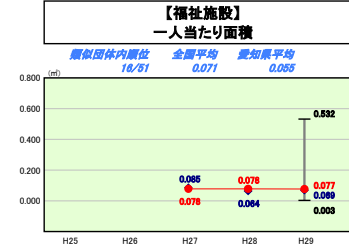
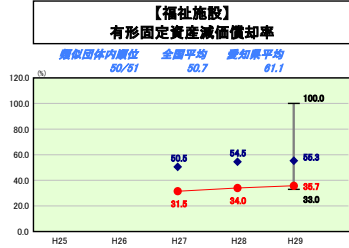
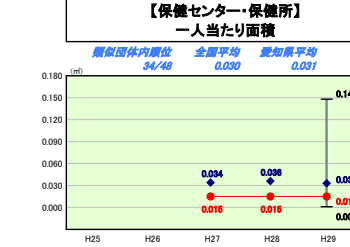
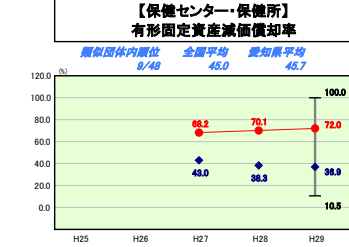
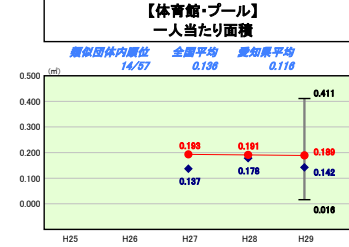
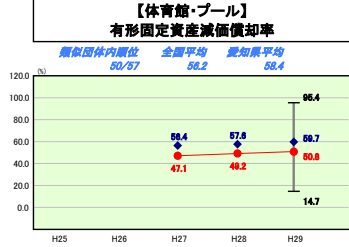
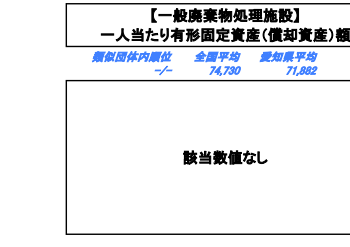
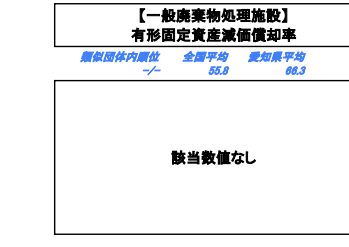
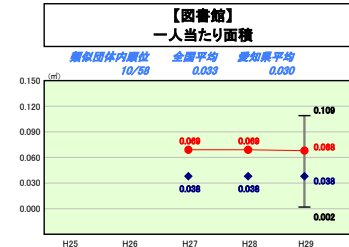
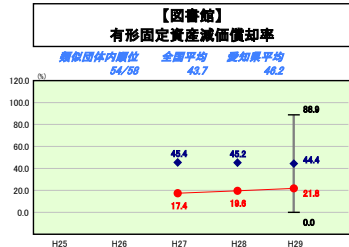
平成29年度

愛知県日進市

人口	89,860	人(930.1.1調査)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	88,488	人(930.1.1調査)	運輸実赤字比率	-	%
面積	34.91	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	25,122,014	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	24,028,282	千円	市町村類型	H25 II-1 H26 II-1 H27 II-3	
実質収支	801,516	千円	(年度毎)	H28 II-3 H29 II-3	
標準財政規模	16,885,450	千円			
地方債残高	11,238,848	千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ⊥ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成28年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成29年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



#### 施設情報の分析

図書館については、平成20年度に取得しているため、有形固定資産減価償却率は21.8%となり、類似団体と比べると低くなっている。福祉施設については、福祉会館中4館が平成11年度以降に建築されており、比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ低くなっている。庁舎については、北庁舎(昭和37年築)が法定耐用年数50年であるのに対し、56年が経過しており、法定耐用年数を超えて使用していること、本庁舎(昭和54年築)の法定耐用年数が50年であるが、39年が経過していることなどにより、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ高くなっている。保健センター・保健所については、保健センター本館(昭和58年築)の法定耐用年数は50年であるのに対し、35年が経過していることなどにより、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ高くなっている。  
 有形固定資産減価償却率の高い施設、特に、法定耐用年数を超えて使用している施設については、実際の老朽化の状況や公共施設等総合管理計画で設定している使用可能年数をも踏まえて、今後のあり方について、検討を進めていく。